

中学・高校生～

2025年6月 no.94

よんごネット*

2025

夏号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



集英社 [913.6 A]

雨の降る日は学校に行かない 相沢沙呼

中学では保健室登校のナツとサエだが、サエは急に教室に戻ってしまう。裏切者！とナツは思ったが、それはクラスのカーストから転げ落ちて教室に行けなくなったサエが、転校する前にした小さな抵抗だった…。「学校」という狭い世界に息苦しさを感じたら読んでほしい6つの物語。

消え失せた密画 エーリヒ・ケストナー 小松太郎訳 (中公文庫)

肉屋の気のいい親方キュルツは、「急にどうにも、やりきれなくなってしまった」旅に出た。そこで美しい女性から古くて高価な密画(小さな絵)を運ぶ手伝いを頼まれる。その密画は竊賊団にねらわれていた。謎の美青年も登場するが敵か味方か分からぬ。キュルツは密画を守れるか？



中央公論新社
[B943 K]

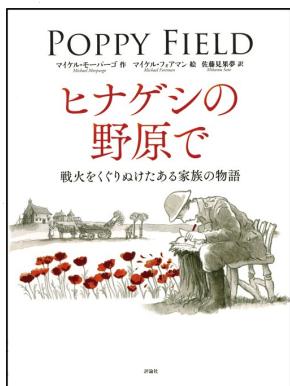


SEISEISHA [468 A]

湘南 波の下水族館 佐藤輝 鍵井靖章

目の前に広がる湘南の海、波の下にはどんな世界が広がっているのでしょうか？「湘南オールスターーズ」「あやしく光って見えるものたち」「海の中のお花畠」

小さくてカラフルな生きものたちの、生命の輝きに目を見張ります。ようこそ！波の下の世界へ。



ヒナゲシの野原で　一戦火をくぐりぬけた ある家族の物語一

マイケル・モーパーゴ作 マイケル・フォアマン絵 佐藤見果夢訳

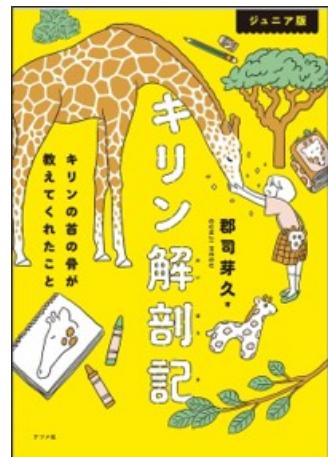
赤いヒナゲシが咲くフランスの野原。第一次世界大戦で激戦地だったこの場所では、今も不発弾や兵士の持ち物が見つかっている。近くに住むメルケル一家に代々受け継がれた宝物。それは、兵士の詩が記された一枚の紙きれ。人々と戦争との関わりが描かれる物語。

評論社
[E・絵本のコーナー]

ジュニア版 キリン解剖記

キリンの首の骨が教えてくれたこと
郡司芽久著

この本には、「生きているキリンはほとんど登場しません。」
亡くなったキリンの体を調べることで“解き明かされた
“進化の秘密”とは？キリン好きな子どもだった郡司さんが
キリンに関する仕事につきたいと思い飛び込んだ解剖
の世界を分かりやすく教えてくれます。



ナツメ社 [487]

アフェイリア国とメイドと最高のウソ

ジェラルディン・マコックラン著 大谷真弓訳

大洪水に襲われたアフェイリア国。最高指導者のマダム・スプリーマは、國民を裏切り、内緒で行方をくらました。
夫のティモールは妻の失踪をつかさどり、15歳のメイド、
グローリアを変装させ、“マダム”に仕立てあげた。

だが、グローリアの発言が思わず笑い声を引き起し…。



小学館
[933]